



## 「親切」は、どうして親を切ると書くの

### 心のやさしさを表す意味

親切の「切」という字は、刃物をぴたりと当てて、切れ目をきれいに切る、という意味ですが、同時に、「刃物をじかに当てるように、はだにぴったりとくっつけて、そのやわらかさにこたえる」というような、心のやさしさを表す意味があります。いわば、いきとどいた応じ方をする、というわけです。

親切の切は、あの方の、いきとどいた接し方をするという方なのです。

また、親切の「親」の字は、実際の親だけではなく、親しい人、身近な人などをさしています。これらの人に対するように、思いやりや、人情味がある応対をするというのが、「親切」の意味なのです。

### 切る以外の使い方

このように、切るとしての使い方ではなく、思いやりや、直接はだに感じるような接し方としての「切」の使い方としては、こん切（いきとどいて親切なこと）、切実（すぐに身にひびいてくること）、切望（心から望むこと）などがあります。

親切ということは、決して親を切るという意味ではないのです。（監修・保岡 孝之）

